

< あなたの治療について >





外科 - ERB - 乳腺 - q3w

今回の治療は、ERB という治療法で、ハラヴェン（ ERB ）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目に点滴を行います。この治療を3週間(21日間)ごとに繰り返します。他の化学療法終了後に続いて行われる場合があります。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~21日目
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み		お休み
	ハラヴェン (抗がん剤) 1.4mg/m ²	点滴 約5分				

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

ハラヴェンについて

白血球減少、好中球減少、リンパ球減少、ヘモグロビン減少

AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、CK (CPK) 上昇

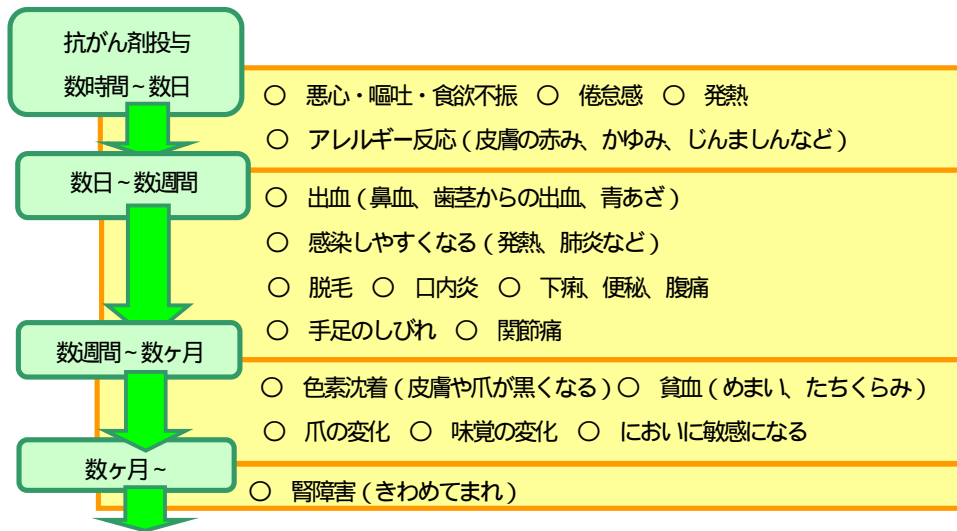
悪心 味覚異常 口内炎 食欲減退 疲労 発熱 末梢神経障害 脱毛症

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ハラヴェン】

<骨髄抑制> いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある

<感染症（敗血症、肺炎等）>寒気がする、ふるえを伴う急激な高熱がでる、脈拍が増加する、筋肉痛がある、関節が痛い、血圧が下がる、痰や咳が出る、息切れがする

<末梢神経障害>手足のしびれ、指先の痛み、冷たい・熱いという感覚が鈍くなる、手足に力がはいらなくなる

<肝機能障害>黄疸、浮腫（むくみ）吐き気

<間質性肺炎> せき、倦怠感（だるさ）発熱、息切れ

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。